

ニホンザル(ホンダザル)

Macaca fuscata fuscata (Blyth)

霊長目
PRIMATES
オナガザル科
Cercopithecidae

カテゴリー

大分県 準
環境庁 掲載なし

選定理由	森林伐採，高速道路や林道開設などにより，生息域の縮小・分断が起 こっており，個体群の不安定化が進行している。
県内分布	県内全域
分布域	本州 四国 九州 (福岡・佐賀・長崎・熊本・大分・宮崎・鹿児島)，金華山，淡 路島 小豆島 屋久島
生息環境	海岸域から山地まで。主として，常緑広葉樹林，落葉広葉樹林に生息。
現 状	本県のニホンザル個体群は，高崎山個体群を除けば，20～30個体程 度の安定した個体群規模であるが，県道改修，高速道路新設，林道開 設などの影響を受け，生息域の分断，縮小，変動などが発生している。
備 考	日本固有種。

ニホンモモンガ

Pteromys momonga Temminck

齧歯目
RODENTIA
リス科
Sciuridae

カテゴリー

大分県 情報不足
環境庁 掲載なし

選定理由	
県内分布	
分布域	本州 四国 九州
生息環境	山地帯から亜高山帯の森林に生息する。夜行性で，樹上で活動し，ム ササビのように滑空する。食性はほぼ完全な植物食で，樹の葉，芽， 樹皮，種子，果実，キノコなどを採食する。
現 状	自然林，特に広葉樹林帯のうち，ムササビとは競合しない環境を選択 しているものと思われる。県下における聞き取りは，山国町，緒方町， 本匠村，直川村などで，林業家による目撃例を聞知したが，いずれも 未確認である。
備 考	IUCN：希少種。日本固有種。日本哺乳類学会：保護すべき地域個 体群(九州)

ムササビ

Petaurista leucogenys
(Temminck)

齧歯目
RODENTIA
リス科
Sciuridae

カテゴリー

大分県 地域個体群
環境庁 掲載なし

選定理由	特定の神社林，伐採された森林の孤島状残存林などで小規模個体群化 し，地域特定の傾向が顕著である。
県内分布	県内全域
分布域	本州 四国 九州(福岡・佐賀・長崎・大分・熊本・宮崎・鹿児島) 中国(甘肅・四川・雲南省)
生息環境	低地から亜高山帯の森林に生息する。夜行性で，樹上で活動し，食性 はほぼ完全な植物食で樹の葉，芽，樹皮，種子などを採食する。
現 状	大山町烏宿神社では森林の孤島化。弥生町愛宕神社では森林の減少と通 行車両による影響。佐伯市城山では市街地直近のため夜間照明や人の出 入りなどの人為圧を理由に。その他，国東町文殊仙寺，竹田市宮砥八幡， 臼杵市東神野熊野神社，宇目町真弓天満宮及び木浦小学校でも樹林の小 規模化や人為干渉などを理由に個体群の孤立小規模化が進行している。
備 考	生息場所である森林自体の消滅や小規模化が発生していることに加え，従来 の営巣場所である樹洞，神社，民家の屋根裏などに対する人為干渉が激しく， 生息可能な場所が急減している。特に，神社では改修に伴う外壁の金属建 材の普及により生息場所を奪われている。